

は物に、フィジションをし、もこと長く続けること
長年利用しているが、サとで効果が表れるものも
「AAPを活用してもらいたい」と話した。

うな取り組みが、もこと必要ではないかと感じた。

な知識が問われるAIFN認定サプリメントプロフェッショナル(仮称)、上級サプリメントプロフェッショナル(仮称)、栄養学や人体・疾病等の教養に特化したサプリメントベーシック(仮称)を予定している。

代のがん
療の流れ
は患者の
の後押し
た。

AIFN 業界と消費者の育成へ

秋からオープンカレッジをオープン

「AIFN(国際栄養食品協会)」(東京都新宿区、☎03・52287・3466)は、業界や消費者教育の実践場を作るAIFNオープンカレッジを2010年秋から順次オープンすることを明らかにした。

オープンカレッジは座学・研修を中心とした「セミナー事業」、そして通信教育を主体として一部に座学も取り入れたサプリメント専門職を育成する「資格認定事業」の大きな本柱からなる。セミナー事業ではAIFNの特性を活かし、国際的な市場動向や学術情報や法制度などを学べるプログラムの提供、そして健康産業に従事者だけでなく消費者の方々の自

己啓発に役立つ様々な内容のワンデイセミナー、行政等の担当者による制度解説セミナーなど、業界団体ならではの魅力的なセミナーを企画している。資格認定事業では、総合的かつ適切な知識を有する人材の育成を目的に、サプリメント専門職の養成・認定制度を充足させることとなった。認定資格はレベルに応じて3認定を設ける。総合的

理を強化しなければならぬ。保健食品企業を信用ある経営に導き、なるべく早く保健業界を信用危機から解放(脱出)する必要がある。「中国の企業に

テ会
研究
テ会
研究
テ会
研究

テ会
研究
テ会
研究
テ会
研究

徳島で研究談話会

テ会
研究

テ会
研究
テ会
研究
テ会
研究